

福島第一原子力発電所 覆土式一時保管施設(一時保管エリアL) 北東側施設の瓦礫類撤去作業等の開始予定

< 参 考 資 料 >
2025年6月13日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 福島第一原子力発電所では、中長期ロードマップの目標工程である「2028年度内までに、一部の固体廃棄物(※)を除く、屋外保管の解消」を目的に、事故後に発生した瓦礫類等について、可能な限り減容した上で屋内保管施設へ移動する等、計画的に屋外の一時保管解消に取り組んでいます。
- 一時保管エリアLは、屋外の瓦礫類の上に土等を覆い被せて遮へいを行う覆土式一時保管施設です。3層構造で、瓦礫類を一番下(第3層目)に一時保管しており、その上に2層の遮へいを行っています。
- 4施設ある覆土式一時保管施設のうち、北東側の施設の撤去作業等を進めており、瓦礫類(第3層目)の撤去作業等の準備が整ったことから、6月16日から開始する予定です。
- バックホウによって瓦礫類を細断・減容・コンテナ収納します。瓦礫類の撤去作業に伴うダスト飛散抑制対策として、散水設備を備えた大型 TENT を設置しており、細断・減容・コンテナ収納はTENT内で行うとともにTENT内外においてダスト濃度を監視しながら作業を行います。
- また、コンテナは固体廃棄物貯蔵庫へ運搬し、表面線量率に応じ適切に保管・管理します。
- 北東側施設の撤去作業等は、2026年度上期の完了を予定しています。引き続き、ダスト濃度を適切に監視しながら、安全を最優先に作業を進めてまいります。

※水処理二次廃棄物および再利用・再使用対象

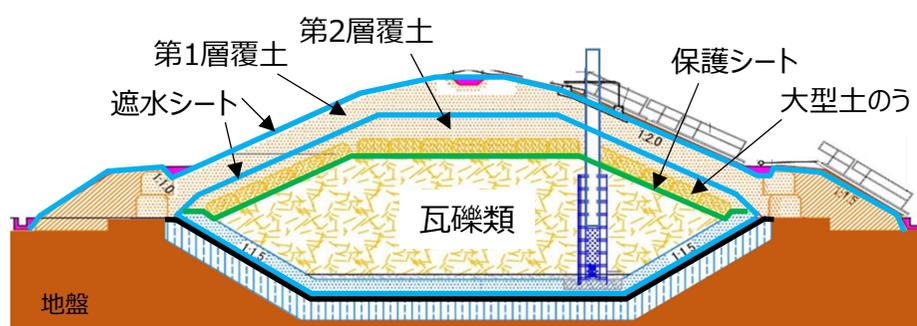


図1. 覆土式一時保管施設の横断面イメージ



図2. 一時保管エリアLの上空写真

1.北東側施設の瓦礫類撤去作業等の概要

- 第1層目から順番に撤去を進めてきました。

第1層目（2024年8月26日～10月28日）

- 雨水浸入防止用の遮水シートを、シート切断機で切断。
- 切断後の遮水シートを、バックホウで撤去。
- 覆土をバックホウで撤去。

第2層目（2024年11月25日～2025年6月6日）

- 第1層目と同様に遮水シートと覆土を撤去。
- 大型土のうをバックホウで撤去。
- 第3層目の撤去作業のダスト飛散抑制対策として、散水設備を備えた大型テントを設置。

第3層目（2025年6月16日～2026年度上期予定）

- 大型テント内において保護シートをバックホウで撤去。
- 大型テント内においてバックホウで瓦礫類を細断・減容のうえコンテナへ収納。
- コンテナを固体廃棄物貯蔵庫へ運搬し、コンテナの表面線量率に応じ保管・管理。

2.北東側施設の瓦礫類撤去作業等の状況



写真1. 第2層目の撤去作業の状況
(2024年12月4日撮影)

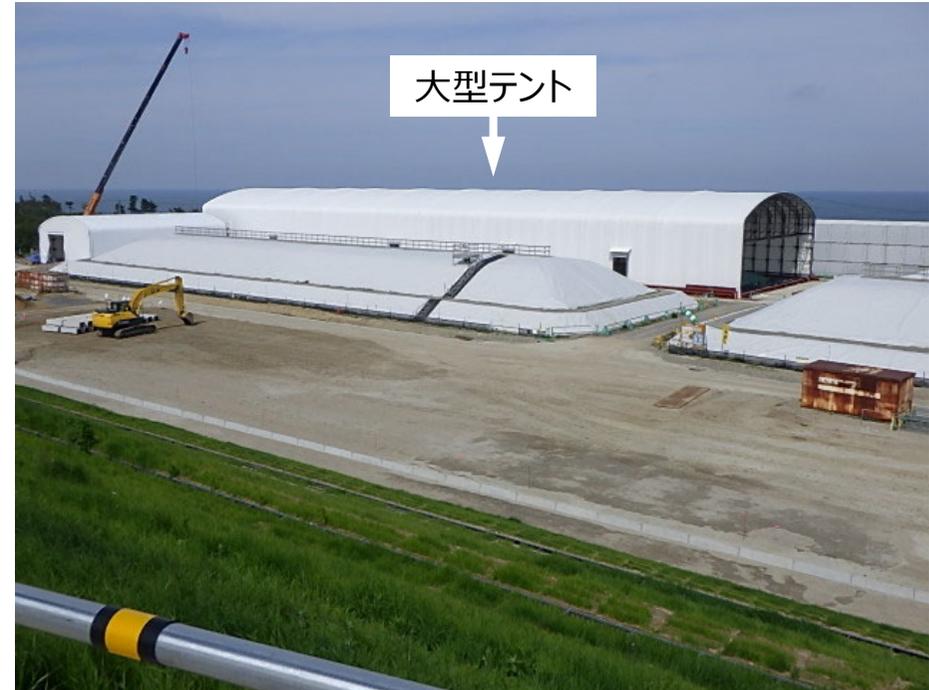


写真2. 大型テントの設置状況
(2025年5月23日撮影)

【参考】覆土式一時保管施設(一時保管エリアL)の概要

- 覆土式一時保管施設(一時保管エリアL)は、震災当初に1～4号機周辺で発生した金属やコンクリート等の瓦礫類に覆土遮へいを施した一時保管エリア。
- 2012年9月に南西側施設を設置した以降、順次、北西側・南東側を設置。
- 北東側施設は4番目で2018年5月に設置。
- 2028年度までに解消予定。

保管容量	約4,000m ³ ×4 (計約16,000m ³)
1施設あたりの規模	南北：約80m 東西：約20m
受入目安 表面線量率	30mSv/h以下

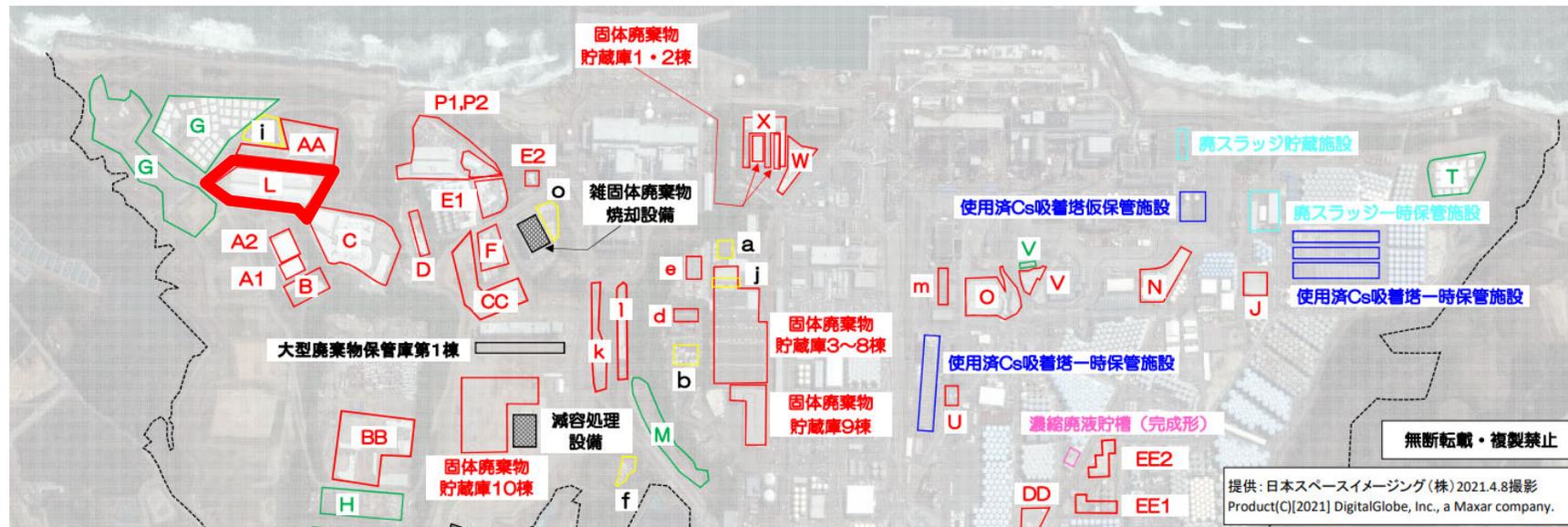
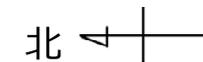


図.福島第一原子力発電所構内における一時保管エリア等の配置